

增加圖書目錄

宮城縣圖書館編

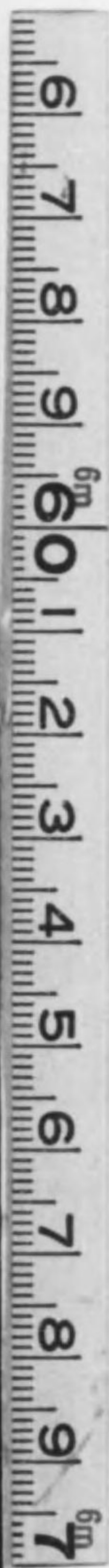
昭和六年度

317  
66

317-66



1200501372742



始



317  
66

贈呈  
昭和七年三月編

昭和六年度  
增加圖書目錄

宮城縣圖書館

### 昭和六年の出版界

昭和六年中に於ける新刊は合計四〇八〇種で之を五年の四一三六種に比較すると五六種計り減つて居るがこの不景氣深刻時代によくもこれだけ出たものである。種類別にしてみると相變らず政治社會物が最多數で第一位昭和二年以來連續首位を占めて居る、第二位は毎年小説戯曲物なのだが今度は珍らしく教育物がこれに代つて居る。次は兒童物で第二位から滑り落ちた小説戯曲物は第四位でしかも五年の四七三種に比して二六一種で約半減して居るのはいさゝか注目し値する。さういへば毎年第五位を占めて居る文學物が六三種減つて第八位に落ち又第八位だつた詩歌、俳句物が之亦五五種程減つて第十四位に滑つたのと共に六年に於ける文藝方面の新刊書は不振であつたことが窺はれる。めざましいのは第十三位から一躍六位に飛んだ理科物でこれは七七種の増加である恐らくこの方面のものは今後益々増えて行くことであらう。外では財政、經濟、工業、哲學、地理、紀行、宗教、農學、國語、漢文、國文學、作文、辭典、習字、修養等はほんの少々ではあるが增えてをり、其の他のものは五年よりやゝ減つて居る。

定價では依然として一圓台が多く、五年の一六一種に對し一六四四種で三三種の増加。次の一圓未満は九〇種計り減り反對に二圓台が一八種増加してをるのは面白い現象である其他は三圓台一二種、四圓台六種、六圓以上二種、五圓台三種といふ工合に何れも減つて居る。

型態では斷然四六版が多いが然し五年から見ると七八種程減つて居り、かへつて第二位の菊判の方が八三一種で一二六種も増加して居る。其の他五年に二一四種もあつた當時の流行兒新四六版が早くも没落して僅か八九種で三位から六位に顛落したのが目につく。増えたものには四六倍判、三六寸判、新菊判、袖珍等があり菊半裁は第三位に上つたが數は二七種減り三五判も六一種減つて居り、寸珍は影を消して反對に四六方位判、四六八倍判などといふ大きなものが現れた。裝釘は並製を抜いて洋布が二四〇種の増加で第一位を占め五年の首位並製が二八四種も激減して二位に滑つたのは意外である。これは五年に於ける並製本が減つて、あべこべにクロス裝が増加したのは頗る面白い現象といはねばならぬ（東京堂月報に據る）

### 例言

發行所寄贈本



一、本編ハ本館ニ於ケル昭和六年度増加和漢圖書目錄デアリマス。  
分類ハ本館圖書分類綱目ニ據ツタモノデ總テ小分類ヲ省キマシタ。  
郷土關係圖書ノ分類ハ檢索閱覽ノ便宜上重複ノ慮モアリマスガ郷土史、郷土人事蹟、郷土關係雜書トシ尙編著者名上●印ヲ付シタモノ  
ハ郷土人ナルコトヲ示シタモノデアリマス。

昭和七年三月

宮城縣圖書館



317-66

第一門 神書、宗教



イ、宗教一般

佛前教と基督教	備前教と基督教	宗教の體	信仰の體	人生の體	近代科學と宗教生活	嬰兒の叫(宗教改革の第一聲)	一乘立憲主義
增谷文雄	永山卯三郎	宇宙社	佐藤鐵太郎	佐藤定吉	佐藤定吉	小牧猛	永井義憲
昭和五	昭和六	昭和六	昭和五	昭和六	昭和六	昭和六	昭和五
一	一	一	一	一	一	一	一
七五	七四	七六	七四	七五	七三	七三	七五

著者名	發行所	出版年	定價	冊數	函號	架號
神道攷究會	神道攷究會	昭和六	一、六〇	一	一一	六六〇
古川左京	摺釜神社々務所	昭和五	非賣	一	一一	七二

昭和六年度增加和漢圖書目次

第一門	神書、宗教	一
第二門	哲學、倫理、教育	三
第三門	文學、語學	五
第四門	歷史、傳記、地理、紀行	七
第五門	政治、法律、經濟、社會、統計	三
第六門	數學、理學、博物	六
第七門	醫學、工學、軍事	七
第八門	美術、音樂、諸藝	七
第九門	產業、家政	七
第十門	類書、叢書、全集、隨筆、書目、雜書	六

法句經と人生 小瀧淳 昭和六 二〇〇 一 一 七〇〇  
 南滿洲ニ於ケル宗教概観 松尾爲作 昭和六 非賣 一 一 七〇〇

ロ、説教

思ふふかか 観音信仰の念力 深谷瑞輔 昭和六 一、九〇 一 一 七〇〇  
 華嚴大經の研究 龜谷聖聲 昭和六 一、八〇 一 一 七〇〇  
 辨榮御慈悲のたより 田中木及 昭和五 二、〇〇 一 一 七〇〇  
 宗教學紀要 柴田玄鳳 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 淨土宗開教西覽 柴田玄鳳 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 社會の宗敎 富士川游 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 眞實の宗敎 富士川游 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 善導大師與日本 柴田玄鳳 昭和五 非賣 一 一 七〇〇  
 善導和尙集 柴田玄鳳 昭和五 非賣 一 一 七〇〇  
 禪の解剖(肉と血と皮) 釋宗演 昭和六 一、八〇 一 一 七〇〇  
 日本佛敎史講話 境野黃洋 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 佛敎概論(眞空より妙有へ) 木村泰賢 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 佛敎概論 三宅俊成 昭和七 非賣 一 一 七〇〇  
 第四回全國佛敎大會々報 同 昭和七 非賣 一 一 七〇〇  
 辯榮上人の片影 山崎辨誠 昭和四 一、四〇 一 一 七〇〇

ハ、基督教

註國譯 碧巖錄(原漢文附) 上村觀光 昭和六 二、五〇 一 一 七〇〇  
 吼えろ日蓮 里見岸雄 昭和六 一、五〇 一 一 七〇〇  
 法然研究抄 丸山滿雄 昭和六 非賣 一 一 七〇〇  
 密然教概論 高神覺昇 昭和五 二、三〇 一 一 七〇〇  
 辨榮聖者 無量光壽 田中木及 昭和五 非賣 一 一 七〇〇  
 奧遂廣錄(自一卷至四卷) 奧遂廣錄刊行會 昭和六 各三 一 一 七〇〇  
 基督教と資本主義 吾妻東一 昭和六 一、八〇 一 一 七〇〇  
 社會、宗敎、文、明 長谷川誠也 昭和六 一、八〇 一 一 七〇〇  
 聖書物語—人間の魂の歴史— 前田R是 昭和六 三、五〇 一 一 七〇〇

第二門 哲學、倫理、教育

一、哲學

安藤昌益と自然營道 渡邊大濤 昭和五 二、〇〇 一 一 七〇〇  
 妖怪學總論 井上圓了 昭和六 一〇、〇〇 一 一 七〇〇



梅のもつ興國性	石田傳吉	文書堂	昭和六	一、五〇	一	ろ二	二〇〇五
哲學論集	香川己之助	歐亞社	昭和五	三、〇〇	一	ろ二	一九八二
世界の脇威アメリカニズム	赤池濃	早稲田大學出版部	昭和五	三、〇〇	一	ろ二	一九八二
日本國民の精神	笹倉新治	大成書院	昭和六	三、五〇	一	ろ二	二〇〇三
人間學とは何か	池田重信	明治圖書株式會社	昭和六	二、四〇	一	ろ二	一九八四
文藝復興史の研究	朝日融	鐵塔書院	昭和六	二、〇〇	一	ろ二	二〇〇三
辯證法を解り易く把へる	ヘーゲル研究会	中文書房	昭和六	四、八〇	一	ろ二	一九八二
ラスク價値哲學	波多野堯	人文書房	昭和六	一、二〇	一	ろ二	二〇〇一
		丁酉出版社	昭和六	二、〇〇	一	ろ二	一九五〇

二、倫理

敬神と實際生活	當山春三	神宮奉齋會宮城支部	大正八	一、五〇	一	ろ二	二〇三九
教育勸語の聖旨を中心とする新日本發展史	川口源司	大陽堂	昭和五	二、五〇	一	ろ二	一九八一
國民道徳原論	清原貞雄	同文書院	昭和六	四、八〇	一	ろ二	一九七八
親愛なる農村青年	山崎延吉	一進堂	昭和六	一、二〇	一	ろ二	一九八四
處世心得	森川勉	中興館	昭和六	一、〇〇	一	ろ二	一九八六
人生如何に生くべきか	森田敏	千興倉	昭和六	一、〇〇	一	ろ二	一九〇八
持身小訓	徳富猪一郎	民友社	昭和六	五〇	一	ろ二	一九九九
昭和興國の青年訓	吉村勝治	明道書院	昭和五	八〇	一	ろ二	一九四五
太陽人の主義	村田大平	大倉廣文堂	昭和六	一、三〇	一	ろ二	一九九五
日本國民の精神	清原貞雄	明治圖書株式會社	昭和六	二、四〇	一	ろ二	一九九四
奉公小訓	徳富猪一郎	民友社	昭和六	五〇	一	ろ二	一九九六

三、教育

愛知縣兒童研究所紀要 (第五輯)	愛知縣兒童研究所	全所	昭和五	非賣	一	ろ二	一九九六
愛知縣兒童研究所紀要 (第六輯)	愛知縣兒童研究所	全所	昭和六	非賣	一	ろ二	一九九八
育兒讀本	田村均	婦人の友社	昭和六	一、三〇	一	ろ二	一九七三
映画番組に關する調査	文部省	帝室博物館	昭和六	非賣	一	ろ二	一九七七
歐米博物館の施設	後藤守一	帝室博物館	昭和六	三、五〇	一	ろ二	一九七四
教育部視學委員復命書 各科視學要領批判	中文館	帝室博物館	昭和六	三、五〇	一	ろ二	一九七四

學界異聞	大塚虎雄	先進社	昭和六	一、三〇	一	ろ二	一八九〇
家庭教育の實際	野瀬寛顯	先進社	昭和六	二、三〇	一	ろ二	一九六八
幼學集上卷	長谷川峻彦	大正書院	昭和六	二、〇〇	一	ろ二	二〇二八
新學集	大西永次郎	右文館	昭和六	一、六〇	一	ろ二	二〇三三
總論	金井浩	同文書院	昭和六	四、二〇	一	ろ二	二〇八一
中心虛弱兒童の養護	眞野常雄	東洋圖書會社	昭和六	二、八〇	一	ろ二	一九九五
總論	三島駒法	有斐閣	明治三	四、〇〇	一	ろ二	二〇三五
合論	文部省專門學務局	全會所	昭和五	非賣	一	ろ二	一九九六
九大法律學校大勢一覽	岩波茂雄	岩波書店	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
昭和五年官立高等學校高等科 入學者選拔ニ關スル調査	岩波茂雄	岩波書店	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
教育勅語と學校教育	岩波茂雄	岩波書店	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
岩波教育	岩波茂雄	岩波書店	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
講義	岩波茂雄	岩波書店	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六

第一回

一、日本に於ける心理學の發達	松本赤太郎	文化教育學	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
二、文化教育學	岡部彌太郎	伏見猛雄	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
三、個性調査	飯田晃三	倉橋惣三	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
四、獨逸の教育	佐々木秀樹	春山作樹	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
五、ローシユの學校	矢田部達	增田惟正	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
六、ドウクロリーの學校	勝部謙造	武部欽一	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
七、就學前の教育	大谷武三	松井三雄	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
八、教員養成論	武部謙造	大谷武三	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
九、道徳と教育	勝部謙造	武部欽一	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六
十、公民教育	矢田部達	增田惟正	昭和六	一、五〇	四	ろ二	二〇〇六

第二回

十一、體育生理學	小笠原道生	松井三雄	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十二、運動心理學	大谷武三	松井三雄	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十三、體育とスポーツの教育	武部欽一	大谷武三	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十四、朝鮮の教育	勝部謙造	武部欽一	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
一、現象學的的教育學	矢田部達	增田惟正	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
二、複合心理學と形態心理學	增田惟正	松本潤一	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
三、心理學研究法	松本潤一	宮嶋清郎	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
四、性格學	宮嶋清郎	宗像誠也	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
五、社會學	宗像誠也	今澤慈海	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
六、英吉利の教育制度	今澤慈海	山口重知	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
七、教師の心理	山口重知	三上義夫	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
八、圖書館教育	三上義夫	佐久間孝雄	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
九、臺灣の教育	佐久間孝雄	山田六名	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十、日本數學教育史	山田六名	久間孝雄	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十一、音聲心理學と國語	久間孝雄	山田六名	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
十二、國語及び國字問題	山田六名	山田六名	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
教育及び教育學の本質	吉田熊次	日黑書店	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
教育改造と社會改造	國民新聞社	啓成社	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
教育改造と社會改造	杉森孝次郎	日東書院	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三
教育改造と社會改造	田制佐重	文書院	昭和六	一、六〇	一	ろ二	一八八三



現代家庭教育の要諦	文部省社會教育局	寶文館	昭和六	一、五〇	一	ろ二	一九八〇
心理生活に現代青年指導の要諦	田中確一	教育書院	昭和六	一、二〇	一	ろ二	一九七〇
昭和三年度版	石谷信保	第一出版會	昭和六	二、八〇	一	ろ二	一九七五
教育指導綱要	島田正藏	目黒書店	昭和七	八〇	一	ろ二	二〇一九
現代革新教育の進展	渡邊進	其文會	昭和六	三、五〇	一	ろ二	一九八八
個性調査と職業指導の實踐	杉原勇	人文書房	昭和六	三、八〇	一	ろ二	二〇三四
昭和六年高等學校高等科入學選拔ニ關スル調査	文部省專門學務局	朝日新聞社	昭和六	非賣	一	ろ三	二八四
朝日公民讀本	刀彌飯正雄	朝日新聞社	昭和六	一、〇〇	一	ろ二	二〇二六
創立五十年史(渡邊學院)	渡邊學	全人文書房	昭和五	一、〇〇	一	ろ二	一九八六
新郷土教育の原理と實際	大澤地光重	人文書房	昭和五	三、五〇	一	ろ二	一九九一
兒童就學獎勵概況	文部省普通學務局	全人文書房	昭和六	非賣	一	ろ三	一九八
兒童體育心理	松井三雄	同文書院	昭和六	八〇	一	ろ二	一九八三
兒童保護論(玉川叢書)	菊地俊諦	玉川學園	昭和六	一、〇〇	一	ろ二	一九八六
習字教育詳説	辻本兵一郎	日東書店	昭和六	二、八〇	一	ろ二	一九八七
新興教育運動の展望	田制佐重	日東書店	昭和六	三、〇〇	一	ろ二	二〇二〇
宗教々育の根本問題	山口英人	四條書房	昭和六	一、八〇	一	ろ二	一九九一
高等女子教育學	下田次郎	東洋圖書社	昭和六	七、三〇	一	ろ二	一九八九
支那學文獻の解題と其の研究法	武田熙	大合會	昭和六	三、五〇	一	ろ二	一九七三
人物の出現地と其の教育	菅原龜五郎	寶文館	昭和六	二、三〇	一	ろ二	一九八五

世界教育の旅	相澤 熙	國民教育獎勵會	昭和五	二、〇〇	一	ろ二	一九四七
小學校教授法沿革史	佐々木 清之壱	原生閣	昭和五	二、八〇	一	ろ二	一九四九
全國高等女學校ニ關スル諸調査(昭和四、十、一現在)	文部省普通學務局	全文局	昭和五	非賣	一	ろ二	一九九〇
全國公立中學校經費ニ關スル調査	文部省普通學務局	全文局	昭和五	非賣	一	ろ三	一九五七
成人教育實施概要	文部省社會教育局	全文館	昭和五	一、八〇	一	ろ二	一九六三
成人教育實務教育	成人教育	全文館	昭和五	非賣	一	ろ三	一九五七
成人教育の實際と理論	文部省社會教育局	全文館	昭和六	非賣	一	ろ二	二〇四五
仙臺市教育會會報	仙臺市教育會	全文會	昭和六	非賣	一	ろ二	二〇四五
仙臺高等工業學校紀要(第十冊二號)	内田 麥耶	全文會	昭和六	一、五〇	一	ろ二	二〇三三
小學校に於ける職業指導の實際	下川兵次郎	三省堂	昭和六	一、八〇	一	ろ二	二〇三〇
世界列國の青年運動	菅原龜五郎	寶文館	昭和六	一、八〇	一	ろ二	二〇三〇
青年大衆の教育	岡本 瓊二	第一出版會	昭和六	一、八〇	一	ろ二	二〇三七
青年訓練の現在と將來	菅原龜五郎	教育書院	昭和六	三、〇〇	一	ろ二	二〇三三
少年航空兵となるには	大竹 豊秋	文教科學協會	昭和七	二、三〇	一	ろ二	二〇三三
卒業生	第二高等學校	同校	昭和六	非賣	一	ろ二	二〇三七
玉の美	野田 菅麿	同校	昭和四	非賣	一	ろ三	二〇三五
勅語行義上下	井上哲次郎	井上蘇吉外	明治四	非賣	一	ろ二	二〇三三
地方學校職員待遇調査	文部省普通學務局	同局	昭和五	非賣	一	ろ三	二〇三三
大學生活の反省	河合榮次郎	日本評論社	昭和六	二、三〇	一	ろ二	二〇三三
(大學百貨店)大學教育のパクロ	永井直二	新思想社	昭和六	一、五〇	一	ろ二	二〇〇〇



昭和七年度 全國 中學校 女學校 實業學校 入學 問題集と模範解答  
 駿々堂發行 大淵善吉 昭和六 八〇 一 一〇二 一九七九  
 受模範 範 作 文 集 三兼大石 大芳文堂 昭和六 四五 一 一〇二 二〇二四  
 最も要領を得たる日本歴史 諏訪徳太郎 大芳文館 昭和六 一六〇 一 一〇二 二〇二四

ロ、體 育

運動 各種 競技 規則 全集 鑑 大道弘雄 朝日新聞社運動部編 昭和六 一〇〇 一 一〇二 一九七四  
 六年 各種 藝 指 南 寶山朱鴻壽 上海中華書局 民國十四年 昭和六 一〇〇 一 一〇二 一九八五  
 ゴ ー ル に 入 る 人見絹枝 一 成 社 昭和六 一五〇 一 一〇二 二〇四〇  
 實用 スキ ー 強 健 術 池野傳吉 講 談 社 昭和六 一三〇 一 一〇二 二〇二二  
 實 證 強 健 術 池野傳吉 講 談 社 昭和六 一三〇 一 一〇二 二〇二二  
 スキ ー の 理論 と 技 術 東京帝大山の會 梓 書 房 昭和六 一〇〇 一 一〇二 二〇二〇  
 ス ポ ー ツ 行 脚 岡部平太 日 本 評 論 社 昭和六 二〇〇 一 一〇二 二〇二一  
 日 本 野 球 史 田原茂作 厚 生 閣 昭和六 二〇〇 一 一〇二 二〇二一  
 陸 上 競 技 者 に 贈 る 中澤米太郎 日 本 體 育 學 會 昭和六 一六〇 一 一〇二 二〇二九  
 私 球 の 野 原 柳野本 啓 三 省 堂 昭和六 二〇〇 一 一〇二 二〇二九  
 籠 球 の 野 原 柳野本 啓 三 省 堂 昭和六 一八〇 一 一〇二 一九九四

第三門 文學、語學

一、文 學

イ、國文學一般

書 名	著者名	發行所	出版年	定價	冊數	函號	架號
青森縣振興の歌	東奥日報社	小林長三郎	昭和六	非賣	一	は二	二七四三
詩憂鬱の世	崔 然	平 凡 社	昭和六	一、五〇	一	は二	二六八八
上田敏詩集	藤木九三	第一書房	昭和六	一、五〇	一	は二	二六四四
詩雲	萩原井泉水	黒百合社	昭和六	一、三〇	一	は二	二七三三
奥の細道評論稿	河合象子	岩 波 社	昭和四	三、三〇	一	は二	二六二五
河合象子遺稿	川 田 順	鈴木庫太郎	昭和六	非賣	一	は二	二七四〇
鶉(蒲)鮮歌(鈔)	川 田 順	改 造 社	昭和六	一、五〇	一	は一	二〇四九
歌集山野を依田秋圃氏の歌風に對する考察	淺野梨郷	梨郷居	昭和六	非賣	一	は二	二六七二
伎藝	天 川 順	竹 柏 會 社	昭和四	一、八〇	一	は一	二〇四九
虛世無藝	空 山 上 泉	かぐのみ社	昭和五	一、三〇	一	は一	二〇五〇
草集近世	頼 城 左 門	第一書房	昭和五	一、〇〇	一	は二	二六三三
草集近世	金井紫雲	芸 艸 堂	昭和六	三、〇〇	一	は二	二六六五

幻 想の 武蔵 野考	山口 諭助	昭和五 一、五〇	は二 二七九
原 始國 文學	徳田 浄	昭和五 二、五〇	は二 二八〇
現代 文藝 思潮 概説	宮嶋 新三郎	昭和六 一、八〇	は二 二八三
新源 氏物 語説	山口 愛川	昭和六 一、五〇	は二 二八六
系統的 國文學 史解	鬼澤 福次郎	昭和六 六、八〇	は二 二八九
詩高 原の 唱	前田 鐵之助	昭和六 一、五〇	は二 二九二
自智 國文 解釋 の コッ	村上 才太郎	昭和五 四、〇〇	は二 二九七
川柳 江戸 砂子	今井 卯木	昭和六 二、八〇	は二 三〇〇
古文 學の 詩	坂井 衡平	昭和六 二、八〇	は二 三〇三
仙臺 名歌 さん	中村 小太郎	昭和六 一、〇〇	は二 三〇六
山海 經(改 訂本)	川田 順	昭和七 一、〇〇	は二 三〇九
樹下 石上	薄田 泣菫	昭和六 一、八〇	は二 三一二
兒童 をた へる 詩	百田 宗治	昭和六 二、五〇	は二 三一五
上代 歌謡 の研 究	安田 喜代門	昭和六 三、五〇	は二 三一八
全 象徴 の鳥	定田 喜代門	昭和六 三、五〇	は二 三二一
白 浪漫 人の 歌	生田 春日	昭和六 一、〇〇	は二 三二四
青 新 浪漫 人の 歌	内田 忠	昭和五 一、三〇	は二 三二七
仙臺 名歌 さん	北澤 金藏	昭和五 一、三〇	は二 三三〇
雨淵	川田 順	昭和六 一、〇〇	は二 三三三

青 杉 一 卷 二 號	石 鈴 木 榮 吉	昭和六 一、〇〇	は二 二七九
綜合 アメリ カ論 (アメリ カの 精神 分析)	三好 達治	昭和六 二、〇〇	は二 二八二
續々 芭蕉 講義 研究	小宮 豊隆	昭和六 二、八〇	は二 二八五
對外 文化 政策 成就 (三枝 書記 官講 演)	外務 省	昭和六 一、八〇	は二 二八八
短 歌 入	橋本 徳壽	昭和六 一、五〇	は二 二九一
泰山 山俳 句集	佐々 木信 綱	昭和六 一、五〇	は二 二九四
泰山 山俳 句集	岩谷 山挹 子	昭和七 一、五〇	は二 二九七
月 の影 流る (上 下)	熊谷 省三	昭和七 一、五〇	は二 三〇〇
登 秋俳 句集	井上 卓玄	昭和六 一、五〇	は二 三〇三
東洋 文化 の世 界的 意義	杉本 寛一	昭和六 一、五〇	は二 三〇六
社 稜 句集	田村 儀重	昭和六 一、五〇	は二 三〇九
奈良 重穂 詩集	啓明 社	昭和七 一、五〇	は二 三一二
日本 文學 自第 一回 至第 六回	成瀬 重	昭和七 一、五〇	は二 三一五
第一 回	岩波 茂雄	昭和六 一、五〇	は二 三一八
第二 回	岩波 茂雄	昭和六 一、五〇	は二 三二一
日本 文學 史概 説(一) 平安 時代	久松 義典	昭和六 一、五〇	は二 三二四
日本 文學 史概 説(二) 平安 時代	久松 義典	昭和六 一、五〇	は二 三二七
日本 歌謡 の展 開	藤田 徳太郎	昭和六 一、五〇	は二 三三〇
日本 文學 と外 來思 潮と の交 渉	藤田 徳太郎	昭和六 一、五〇	は二 三三三

第二回

南蠻文學  
萬葉集の研究 (用字法を中心として)  
住吉物語の形態に關する研究  
北村透谷

下

日本文學書目解説 (三)  
日本文學研究法 上

鎌倉時代 上

落窪物語

和泉式部

榮華物語 (題名及び卷名ニ關スル)  
提案

梁塵秘抄

狂歌の研究

樋口一葉

白樺の運動

俳諧史の研究

琉球文學

伊勢物語定家本の展望

藤原定家  
鎌倉時代の小説

第三回

新 吉 治 吉  
森 本 治 治  
西 下 經 一  
鹽 田 良 平  
久 松 潜 一  
垣 内 松 三  
山 岸 德 平  
橋 本 德 佳  
岡 田 希 雄  
三 條 西 公 正  
志 田 希 雄  
野 崎 左 文  
湯 者 小 路 實 篤  
武 者 小 路 實 篤  
穎 原 退 藏  
伊 波 普 猷  
大 津 有 猷  
谷 津 有 猷  
野 村 八 良

第四回

花傳書  
川柳  
雅樂と伎樂  
日本文法要論  
紫式部  
佛敎文學研究特に法儀の文學に就て  
鶴屋南北  
自然主義の作家  
正岡子規  
日本風俗史概説

第五回

明治時代  
日本史の押韻  
支那文學字學  
古事記の研究  
平家物語の考察  
能の舞臺的特質  
點本書目  
延喜式祝詞要

第六回

古今和歌集の基礎的研究  
狹衣物語

熊 勢 朝 次  
岡 田 三 面 子  
田 邊 尚 雄  
山 田 孝 雄  
石 村 貞 吉  
筑 土 鈴 寛  
渥 美 清 太郎  
谷 川 徹 三  
齊 藤 茂 吉  
櫻 井 秀 一  
片 岡 良 一  
九 鬼 周 造  
武 内 義 雄  
倉 野 憲 司  
友 技 照 雄  
野 山 豐 一郎  
吉 澤 義 一  
千 田 義 一  
三 條 西 公 正  
入 江 相 公 政

俳文の研究

王朝文學に現はれたる庶民生活  
神話學より見たる國文學

岩田九郎  
西岡虎之助  
松村武雄

磐水存響 乾、坤、大槻茂雄 同 大正元 三、五〇 二 は二 二、九四

新芭蕉一代集 文章篇 勝峯晋風 春秋社 昭和六 一、二〇 一 は二 二、六五

芭蕉入門 蕨原井泉水 春秋堂 昭和六 二、〇〇 一 は二 二、八一

俳人讀本(上) 萩原井泉水 春秋社 昭和六 一、八〇 一 は二 二、七二

冬柏第二卷第二號 田中悌六 冬柏發行所 昭和七 一、八〇 一 は二 二、九七

文壇三論 近松秋江 千代堂書店 昭和六 一、八〇 一 は二 二、九七

文學論 本間久雄 東京堂書店 昭和六 三、三〇 一 は二 二、九七

文學と經濟學(文學美術及び經濟學に關する論集) 大塚悦三 大倉廣文 昭和六 三、八〇 一 は二 二、六九

平家物語新釋(上下) 溝口駒造 六文館 昭和六 一、八〇 一 は二 二、六二

鉢杉一卷三號四號 鈴木榮吉 鉢杉發行所 昭和六 二、〇〇 三 は二 二、七〇

眞室町文學類選 青葉俱樂部 三島開文堂 昭和六 一、九〇 一 は二 二、九六

時代文學 岩城準太郎 東洋圖書會社 昭和六 一、八〇 一 は二 二、九六

明治大學文學史 橋文七 啓文社 昭和六 一、八〇 一 は二 二、七五

門間春雄歌集 第二十九編 川田順 竹岩會 昭和四 一、五〇 一 は二 二、八七

陽炎 川田順 竹岩會 昭和四 一、五〇 一 は二 二、八七

口、小説及脚本

四シの詩集 前田鐵之助 詩洋社 昭和五 一、三〇 一 は二 二、六八

爛熟期・頽廢期の江戸文學 高須芳次郎 明治書院 昭和六 三、八〇 一 は二 二、四四

梨郷歌集 淺野利郷 梨郷居 昭和六 三、〇〇 一 は三 六四

六山人句集 安藤俊雄 福永書店 昭和五 二、〇〇 一 は二 二、七二

青久清俊 所面足千木 先進社 昭和五 二、五〇 一 は二 二、六四

安城家の兄弟 松岡讓 中央公論社 昭和六 一、八〇 一 は二 二、四八

憂鬱な愛人(下) 牧逸馬 中央公論社 昭和六 一、五〇 一 は二 二、三六

海のなない港 牧逸馬 中央公論社 昭和六 一、五〇 一 は二 二、三五

續右門捕物帖 佐々木味津三 博文館 昭和六 一、五〇 一 は二 二、七〇

江川城心子 新青年編輯部 博文館 昭和六 一、五〇 一 は二 二、六四

江川文藝叢書 吉川英治 先進社 昭和六 一、七〇 一 は二 二、六〇

江川文藝叢書 藤井乙男 先進社 昭和六 一、七〇 一 は二 二、六〇

江川文藝叢書 藤井幸次 先進社 昭和六 一、七〇 一 は二 二、六〇

英國の機密室 隅井幸次 先進社 昭和六 一、七〇 一 は二 二、六〇

貝殼の機密室 隅井幸次 先進社 昭和六 一、七〇 一 は二 二、六〇

小海路 中河與一 先進社 昭和六 一、八〇 一 は二 二、五二

寬永御前試合 野間清治 講談社 昭和六 一、〇〇 一 は二 二、七〇







臨時國語調査會發表漢文漢語假名遣整理案	木枝増一	東洋圖書株式	昭和四	二、〇〇	一	は二	二六四六
臨時國語調査會發表漢字漢語假名遣整理案	木枝増一	同	昭和四	二、〇〇	一	は二	二六四六
漢音吳音の研究	大島正健	第一書房	昭和六	二、五〇	一	は二	二七〇一
高等國語法講義	木枝増一	日黒書店	昭和六	七、五〇	一	は二	二六五六
經濟學辭典第一至三卷	大阪商科大學經濟研究所古澤義則著	岩波書店	昭和七	六、〇〇	三	は三	二四〇〇
國語の語源と其の分類	大島正健	立命館大學出版部	昭和六	一、五〇	一	は二	二六三二
國語問題の研究	菊澤秀生著	第一書房	昭和六	三、〇〇	一	は二	二六五七
新獨逸文法四週問	西郷啓造著	岩波書店	昭和六	一、五〇	一	は二	二六八〇
圖解式英文法	正田淑子	尙文書館	昭和六	一、五〇	一	は二	二六四三
獨逸語四週問	森 儂 郎	寶英書林	昭和五	一、五〇	一	は二	二七二四
日本英語學書志	荒木伊兵衛	大學書林	昭和五	一、五〇	一	は二	二六一〇
日本語となつた英語例	同	創元社	昭和六	七、五〇	一	は二	二七三七
佛蘭西語四週問	葛良修編	研究社	昭和五	非賣	一	は二	二七三七
佛蘭西文英釋の重點	德尾俊彦	大學書林	昭和五	一、五〇	一	は二	二六〇九
受驗和文英釋の重點	米本新次	芳文堂	昭和五	一、四〇	一	は二	二七二七
日本ローマ字會パンフレット	田丸卓郎	日本ローマ字會	昭和六	一、〇〇	一	は二	二七三三

イ、辭典

該語大辭典	藤井乙男	有朋堂	昭和五	六、〇〇	一	は二	二六五八
三兼辭典	酒井歌彦編	潮文閣	昭和六	二、五〇	一	は一	二〇四七
支那文學辭典	富樫昌胤	南陽堂	昭和六	一、七〇	一	は二	二六三三
世界花言葉全集附圖藝辭典	西島樂峰	春陽堂	昭和五	三、八〇	一	は二	二六〇三
世界花言葉全集附圖藝辭典	西島樂峰	春陽堂	昭和五	三、八〇	一	は二	二六〇三
典	東川徳治編	有斐閣書房	昭和五	一、六〇	一	は二	二六七五
明解漢和辭典改訂版	宇野哲人	三省堂	昭和三	一、八〇	一	は二	二六七五

第四門 歴史、傳記、地理、紀行

一、歴史

近江商人事績寫真帖	近江縣經濟協會	全會	昭和五	一七、〇〇	一	は四	五六
加賀藩史料第四卷	前田家編輯部	石墨文吉	昭和六	非賣	一	は二	二六三四
加越能維新勤王史略	中田敬義	全縣會	昭和五	非賣	一	は二	二六五二
岡山縣通史(上下)	岡山縣	全縣會	昭和五	非賣	二	は三	二六三三
江戶時代の交通文化	樋畑雪湖	刀江書院	昭和六	五、八〇	一	は二	二九一七
江戶時代(制度篇)	大槇義次	安東、時事新報社	昭和五	四、〇〇	一	は二	二八八七
加賀藩史料第四卷	前田家編輯部	石墨文吉	昭和六	非賣	一	は二	二六三四

近世日本國民史	孝明天皇初期世相篇	德富猪一郎	民友社	昭和五二、五三	一	二	四七
國史	上の思想問題	及川儀右衛門	寶文館	昭和四三、八〇	一	二	一八三
國史	新辭典	堀田璋左右	雄山閣	昭和六四、八〇	一	二	一八七
名國旗	の由來と國祭日	内藤堯	同文館	昭和六一、八〇	一	二	一九七
古社	の由來と國祭日	魚澄惣五郎	星野書店	昭和六五、〇〇	一	二	一九九
堺市	史第八卷	堺市役所		昭和六非賣	一	二	二六二
支那本土	の厚住民族は日本朝鮮滿洲同族である						
修史	餘論	岩佐善太郎	信陽館	昭和六非賣	一	二	一九三
内藤博士	頌詞記念	德富猪一郎	民友社	昭和六二、〇〇	一	二	一八九
學	論叢	西田直二郎	弘文堂	昭和五八、五〇	一	三	一一一
目次							
公孫氏の帶方郡設置と曹魏の樂浪帶方二郡							
氣韻生動論の發生							
中世に於ける淀川河口の發達							
影齋鈔子本固禮鄭注殘卷跋							
天保政華の一研究							
十八世紀の佛蘭西に於ける支那趣味							
西夏助辭攷略							
河源論							
我國中古の律令に見えたる階級制度の構成							

池内 宏  
伊勢 專一 郎  
魚登 惣五 郎  
神田 喜一 郎  
幸田 成 友  
小林 太市 郎  
N. Novsky  
藤田 元 春  
牧 健 二

世界圖屏風考	眞 話 跋	朝鮮支間の航路及其推移	増上寺藏宗版一切經の由來	日本上代のトーマスム痕跡の問題と呪についての二三の考	G、K音系流の虚字に就きて	成尋阿闍梨母日記解説	支那印花布源流考資料	雲棲大師殊宏に就て	鄂州之役前後	井々竹添先生遺愛唐鈔漢書揚傳訓點	宋代の素問經考	琉球國進貢表と西城莊阿國降表に就て	朱蒙傳説及老羅雅傳説	染織文様	史の研究	明石 染 人	萬里 閣	昭昭六三、六〇	一	二	一八五
時 代	ご	櫻 井 秀	寶文 館	昭昭六三、五〇	一	二	二〇七														
西 域	文 明	羽 田 享	弘文 堂	昭昭六三、五〇	一	二	一九八														
續 史	籍 集	覽 至第十一	近藤 出版部	昭和五三、〇〇	一	二	一六五														
牧野 信之助	張 爾 輔	内 藤 直 勝	中 村 直 勝	西田 直二 郎	財 津 愛 象	佐々 木 信 綱	新 村 出	高 雄 義 堅	宮 崎 市 則	吉 澤 義 則	廖 温 仁	渡 邊 董 太 郎	今 西 龍								



長岡市史	長岡市役所	昭和六	非賣	一	に	二	一八三
日本民族の異端的研究	岩磐史料研究會	昭和六	非賣	一	に	二	一八三
日本とは如何なる國ぞ	天業民報社	昭和五	八〇	一	に	二	一九五
日本洋服沿革史	同	昭和五	五〇〇	一	に	二	二八五
日本國家の成立過程	白揚社	昭和六	一、五〇	一	に	二	二二七
日本文明史講話	雄山閣	昭和六	二、〇〇	一	に	二	二八四
日本民族學講義	大岡山書店	昭和六	二、八〇	一	に	二	一八五
新日本學	天人書社	昭和六	二、五〇	一	に	二	一八三
日本民族學	白揚社	昭和六	二、〇〇	一	に	二	一八六
農村社會經濟史	有終會	昭和六	一、五〇	一	に	二	一九九
農村社會經濟史	百草庵	昭和六	非賣	一	に	二	一九三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	一九九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇〇
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇一
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇二
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二〇九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一〇
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一一
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一二
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二一九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二〇
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二一
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二二
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二二九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三〇
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三一
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三二
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二三九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四〇
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四一
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四二
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四三
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四四
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四五
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四六
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四七
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四八
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二四九
農村社會經濟史	同	昭和六	非賣	一	に	二	二五〇

一、言論史  
二、經濟史

三、外 文 篇	四、世 相 篇	五、藝 術 篇	六、政 治 篇
最も要領を得たる日本歴史	諏訪徳太郎	大 修 館	昭和六 一、六〇 一 一 一 四九
夢殿第三冊太子・法隆寺附近の研究	佐伯啓造	觴 故 郷 舎	昭和六 一、六〇 一 一 一 三五

イ、郷 土 史

荒 雄 村 誌	宮城縣志田部會	昭和六 非賣 一 一 二 一六九七
鹽 釜 神 社 史	古川左京	昭和五 非賣 一 一 二 二七二
仙臺開説三百年紀念大祭御行列之圖繪卷物	關 耳 耕 年 著	明治三 三、〇〇 一 軸 一 一 一 一三七
東北及東北人	淺野源吾	大正四 七〇 一 一 一 二四五
東北の秘史逸語	河北新報社	昭和五 七〇 二 一 二 一八四八
中津山村誌	富田廣重著	昭和六 非賣 一 一 二 一六九六
ふるさとの第一卷第八號	中津山教育會	昭和六 二〇 一 一 二 一三五五
宮城縣史蹟名勝天然記念物調査報告第六輯	勝田三男編	昭和六 二〇 一 一 二 一三五五
宮城縣郷土史年表	縣調查會編	昭和六 非賣 一 一 二 一六六
宮城縣名勝地誌	菊地勝之助著	昭和六 二、〇〇 一 一 一 四三三
	山本金次郎編	昭和六 一、五〇 一 一 二 一八九九

宮城縣通史 清水東四郎 新約社書店 昭和六年三月二二日に二一九六

郷土人

荒井泰治	傳	奥山十平	中津川虎之進	大正五	七	一	に	一九三五
青柳文藏	翁傳	岩手縣圖書館協會	全縣	昭和六	非賣	一	に	一九四二
昭和六年	元節表彰事蹟	宮城縣	全縣	昭和六	非賣	一	に	一九三九
仙臺郷友錄	(昭和六年版)	加藤清	宮城縣人	昭和五	七	一	に	一九三〇
東北之龜鑑	安藤辰四郎	三光堂	堂	明治五	一〇〇	一	に	一九三八
中日五代之家庭教育	中島日覺	全人	人	昭和六	非賣	一	に	一九四三
前島震太郎小傳	前島豐	オキシヘーラ	會	昭和六	非賣	一	に	一九七〇

郷土關係雜書

遠藤速雄	松島鹽釜版畫集	櫻田周編	同人	明治四	三枚ニテ	一袋	ち	一九二
昭和四年	業務功	宮城縣立農事試驗場	同人	昭和五	非賣	一	り	一九七二
昭和五年	業務功	同	同人	昭和六	非賣	一	り	一九六二
昭和四年	業務統計要覽	仙臺遞信局	同人	昭和六	非賣	一	り	一九二二
昭和四年	業務統計要覽	東北帝國大學法文學部經濟研究室	同人	昭和六	非賣	一	り	一九三五
昭和四年	穀物検査報告	宮城縣穀物検査所	同人	昭和六	非賣	一	り	一九七九

薩哈 哇洲 寫真帖 石川智 仙臺石川寫真館 大正三 非賣 一 ち三

齊藤報恩會第九回 昭和五 事業報告書 齊藤報恩會 同人 昭和大 非賣 一 ち三

業務取縮事務成績昭和五年 齊藤報恩會 同人 昭和大 非賣 一 ち三

昭和五年 業務報告 第八號 齊藤報恩會 同人 昭和大 非賣 一 ち三

昭和五年 業務報告 齊藤報恩會 同人 昭和大 非賣 一 ち三

仙臺市勢要覽(昭和五年版) 仙臺市役所 同人 昭和六 非賣 一 ち三

仙臺市勢要覽(昭和六年版) 仙臺市役所 同人 昭和六 非賣 一 ち三

仙臺鐵道局要覽(昭和五年版) 仙臺鐵道局 同人 昭和六 非賣 一 ち三

仙臺鐵道局要覽(昭和六年版) 仙臺鐵道局 同人 昭和六 非賣 一 ち三

仙臺市統計書 仙臺市役所 同人 昭和五 非賣 一 ち三

仙臺市統計書 仙臺市役所 同人 昭和五 非賣 一 ち三

仙臺商工建築案內 仙臺商工會議所 同人 昭和五 非賣 一 ち三

仙臺五年年度年報 宮城縣商晶陳列所 同人 昭和五 非賣 一 ち三

仙臺高等工業學校紀要 臺北仙臺同鄉會 同人 昭和六 非賣 一 ち三

仙臺高等工業學校紀要第十冊二號 內田黎郎編 同人 昭和六 非賣 一 ち三



昭和六	非賣	一	ろ	二	二〇四五
昭和六	非賣	一	へ	三	嬰
昭和六	非賣	一	ろ	二	三〇七
昭和六	非賣	一	ほ	二	三〇七
昭和六	非賣	一	り	一	一六五
昭和六	非賣	一	は	二	三六四
昭和七	非賣	一	い	二	七四三
昭和五	非賣	一	ほ	一	六八
昭和五	非賣	表	ほ	三	二二三
昭和六	非賣	三	ほ	三	一一三
昭和六	非賣	一	ほ	二	三七六
昭和六	非賣	一	ほ	二	二〇五
昭和六	非賣	一	へ	二	九六四
昭和七	非賣	一			
昭和五	一	五	に	二	一八四五

二、傳記

宮城の水産創刊號 北村惣吉 千葉書店 昭和五 一、五

昭和六	一	五	に	二	一六九
昭和六	非賣	一	に	二	一九四
昭和六	非賣	一	に	二	一八三
昭和六	非賣	一	に	二	一七〇
昭和六	非賣	一	に	二	一九三〇
昭和六	非賣	一	に	二	一八〇
昭和五	非賣	一	に	二	一八九〇
昭和六	非賣	一	に	二	一六三
昭和六	非賣	一	に	二	一八七
昭和六	非賣	一	に	二	一九六
昭和六	非賣	一	に	二	一九五
昭和六	非賣	一	に	二	一八九
昭和六	非賣	一	に	二	一八一
昭和六	非賣	一	に	二	一六〇
昭和六	非賣	一	に	二	一八七
昭和七	非賣	一	に	二	一九九
昭和二	非賣	一	に	二	一八五
昭和二	非賣	一	に	二	一八七
昭和五	一	〇	に	二	一九〇
昭和五	一	〇	に	二	一九〇

本元	享	釋	書	大村桂嚴譯註	昭和六	一、五〇	一	に	一九〇一
國史	人物論	集	書	天野正治	昭和六	二、八〇	一	に	一九〇四
弘法	大師傳	集	書	高野山	昭和六	非賣	一	に	一九〇三
山陽	先生遺光	傳	集	同先生百年紀念會	昭和七	非賣	一	に	一九〇五
職員	錄	遺	集	全	昭和六	三、八〇	一	に	一九〇三
聖上	御盛德	錄	集	全	昭和六	九、五〇	一	に	一九〇三
聖上	陛下の生物學御研究	錄	集	新	昭和六	二、〇〇	一	に	一九〇六
昭和大	禮要	錄	集	内閣印刷局	昭和六	三、〇〇	一	に	一九〇九
大西	郷禮	要	錄	三	昭和六	二、五〇	一	に	一九〇四
津輕	むがし	集	次	東	昭和六	非賣	一	に	一九〇三
昭和	帝國學士院名簿	集	次	同	昭和六	非賣	一	に	一九〇四
昭和	三好愛吉先生傳	集	次	三好愛吉先生追善會	昭和六	非賣	一	に	一九〇四
獨	笑三	尊	年	博	昭和六	五、〇〇	一	に	一九〇九
二	宮尊	年	傳	平	昭和六	一、五〇	一	に	一九〇三
子供の	日本美術家物語	語	話	講	昭和五	一、三〇	一	に	一九〇七
ための	日本傳説研究(第四卷)	語	話	文化書房	昭和五	二、五〇	一	に	一九〇五
法	本傳説研究(第四卷)	語	話	六	昭和六	二、五〇	一	に	一九〇五
橋本	左内研究	然	究	三省堂	昭和六	一、五〇	一	に	一九〇七
少	ブロッコリーターク英雄傳	究	傳	玉川學園出版部	昭和六	一、五〇	一	に	一九〇八

佛門	に	入	り	て	宮嶋蓬州	昭和五	一、五〇	一	に	一九〇五
奉天派	の	新人	と	舊人	滿洲日々新聞社	大正三	一、〇〇	一	に	一九〇六
俸給生活	より	獨立	の	經營	教	昭和六	一、〇〇	一	に	一九〇九
マクドナーナルドイギリス労働宰相傳					岩波書店	昭和六	一、五〇	一	に	一九〇六
國休の	明	治	天	皇	天業民報社	大正五	五、〇〇	一	に	一九〇七
權化	明	治	大	帝	天業民報社	昭和二	三、〇〇	一	に	一九〇六
明	治	大	帝	論	千倉書院	昭和二	一、五〇	一	に	一九〇六
メリー、ウオルストンクラフト					カ	昭和六	二、八〇	一	に	一九〇二
波瀾重疊					カ	昭和六	二、八〇	一	に	一九〇二
修養立志					カ	昭和六	二、八〇	一	に	一九〇二

三、地理

亞細亞	の	火	藥	庫	三浦悦郎	昭和六	七、〇〇	一	に	一九〇〇
新お伊勢	ま	ゐ	り	大和ぬぐり	新井和臣	昭和五	五、〇〇	一	に	一九〇二
温泉	の	山	形	形	平形長治	昭和六	一、八三	一	に	一九〇三
温泉	の	山	形	(春の卷)	長谷川一壽	昭和六	一、八三	一	に	一九〇三
樺太	太	太	太	論	山下龍門	昭和四	一、五〇	一	に	一九〇九
樺太	太	太	太	論	樺太	昭和六	非賣	一	に	一九〇五
樺太	太	太	太	論	樺太	昭和六	非賣	一	に	一九〇五
海外	金	儲	要	讀	日本植民通信社	昭和六	非賣	一	に	一九〇六
吉	林	事	情	本	早林日本居留民會	大正三	一、五〇	一	に	一九〇五

吾人は滿蒙に發展し得ざるや	佐田弘治郎	先進社	昭和六	一、三〇	一	二	一九三三
上海スケット	上原公六	上原公六	昭和六	一、三〇	一	二	一九四〇
趣味之奉天	齋藤政江	石田貞藏	昭和六	一、三〇	一	二	一九四〇
上海一覽附蘇州杭州案内	上海至誠堂		昭和六	一、三〇	一	二	一九四〇
支那地理圖目録	大連圖書館		昭和六	一、三〇	一	二	一九四〇
世界地理風俗大系	仲摩照久	新光社	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第六卷	中央亞細亞	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第七卷	西亞細亞	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第九卷	北歐諸國	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第十一卷	ドイッチ	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第二十四卷	北極地方	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
第二十五卷	總論及索引	新亞細亞	昭和五	三、五〇	一	三	一九三三
別卷第二卷	世界風景大觀	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	世界人種風俗大觀	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	世界遺跡大觀	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	佐藤義亮	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	利篇	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	五、印度、濠洲、加奈陀篇	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
別卷第一卷	七、ソヴェト、ロシア篇	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	一九三六
世界地理圖集	西田典四郎	東洋圖書會社	昭和六	三、〇〇	一	二	一九三二

調査資料 生活状態調査(其三) 江陵郡	朝鮮總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一七五〇
臺灣現勢要覽	臺灣總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一四三
臺灣事情	臺灣總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一四九四
南洋事情	杉田祥夫	大倉廣文堂	昭和六	一、五〇	一	二	一九三七
西蔵を越えて聖峯へ	大木篤夫	博文館	昭和六	一、五〇	一	二	一九〇六
朝鮮要覽	朝鮮總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一三八八
朝鮮の風水	朝鮮總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一九五〇
朝鮮の要覽	朝鮮總督府	同府	昭和六	非賣	一	二	一三六八
東三省古蹟遺蹟報告	菊池貞二	成京時報社	昭和五	非賣	一	二	一六九五
南支南洋研究報告書	爪哇經濟界ノ現況ト蘭領東印度ノ原始産業並ニ英取引概観	同	昭和五	非賣	一	二	一九〇五
南洋へ(蠻島を踏破して)	島崎新太郎	新時代社	昭和六	一、五〇	一	二	一七八六
南米の核心に同胞を訪ねて	内田嘉吉	柳生南洋記念財團	昭和六	非賣	一	二	一六八四
ブラジル移住者通信集	野田良治	博文館	昭和六	一、六〇	一	二	一九三三
北蒙	拓務省拓務局	同	昭和六	非賣	一	二	一九四四
滿蒙	丸山幸一郎	丸山幸一郎	大正十	一、五〇	一	二	一四三六
滿蒙併呑か獨立か?	中日文化協會	中溝新一郎	昭和六	一、五〇	一	二	一九三五
	長野野明	千倉書院	昭和六	一、五〇	一	二	一九三三





最近に於ける歐米國際關係	内藤智秀	東洋圖書株式會社	昭和六	八〇	一	ほ二	二四三
昭和四年樺太應治要覽	樺太應	同	昭和五	非賣	一	ほ一	二四九
革命頭細亞の展望	中谷武世	萬里閣	昭和五	一、五〇	一	ほ二	二二六
街頭政治の學	喜多壯一郎	木村書房	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二三二
内地の露社事件の一考察	臺灣政治研究會	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二九一
極東の史觀と經論	日高瓊々彦著	先進社	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	三三四
共產黨の正體と撲滅策	日本新聞編輯局	先進社	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	三三七
増訂行政法撮要(上)	美濃部達吉	有斐閣	昭和六	三、六〇	一	ほ二	一八九九
外蒙の現勢と其將來	盛島角房	小口五郎	昭和五	非賣	一	ほ二	二三五
外務省公表集(第十一輯)	外務省	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二四七四
外國の新聞と雜誌(二百二十三號)	佐久間秀雄	日本讀書協會	昭和五	非賣	一	ほ二	二二六
憲法讀本	上杉慎吉	日本評論社	昭和三	一、〇〇	一	ほ二	二七五
現代の外交と國際關係	小室誠	社會書房	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二九五
國際聯盟概説	五來欣造	社會書房	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二六六
五ヶ年計劃立往生 <small>(ザウイト、ロシアの革命的カールカツキ著 小池四郎譯)</small>	外務省	國際聯盟協會	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二三五
國民主義と歐米の動き	先進社	先進社	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二〇一
支那阿片問題解決意見	鐵塔書院	日本書院	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二六五
支那問題講話	林田茂雄	鐵塔書院	昭和六	八〇	一	ほ二	二八六

最近支那國際關係	齋藤良衛	國際聯盟協會	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二三六
支那事變と我國民の覺悟	後藤朝太郎	千倉會	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二三三
支那新聞排日ふり	大谷光瑞	大乘社東京支部	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二三二
時局排日ポスター寫真帖	大泉忠敬	先進社	昭和六	五、〇〇	一	ほ二	二二六
政治學概論	秋山豊三郎	滿洲日報社	昭和七	非賣	一	ほ三	二二六
昭和一九三〇政治經濟年鑑	高橋清吾	早稻田大學	昭和五	二、五〇	一	ほ二	二二九
世界の動きと日本の立場	東京政治經濟研究所	日本評論社	昭和五	三、〇〇	一	ほ二	二三九
世界の政局の動き	高山詳吉	希望閣	昭和六	四、〇〇	一	ほ二	二二五
世界の動きと日本の立場	本多熊太郎	千倉	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二二六
仙臺市勢要覽	仙臺市役所	全倉	昭和五	非賣	一	ほ一	二五一
昭和六年縣會知事演說要目	齋藤良衛	日本評論社	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二五五
ソヴエト露國の極東進出	ソヴエト、ロシアに於ける農業政策	齋藤良衛	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二五〇
ソヴエト露國の極東進出	田中勝太郎	叢文閣	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二六三
太平洋問題(一九二九年京都會議)	齋藤良衛	日太評論社	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二七一
高橋是清大論集	新渡戸稻造	太平洋問題調査會	昭和五	二、〇〇	一	ほ二	二四五
打倒日本文學	佐伯陽堂	明星書院	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二〇八
第三インターナショナルの國家政策	保々隆矣	邦文社	昭和六	八〇	一	ほ二	二三三
拓務省拓務局	近江匡男	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二八三
拓務省拓務局	秀英舍	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二八六



第二卷

行政法  
民法總則  
勞働法  
法律講話  
法學問答  
法學入門  
大日本帝國憲法講義  
行政法總論  
民法總則  
勞働法  
法學問答  
大日本帝國憲法講義  
行政法總論  
民法總則  
地方自治制  
判例小話  
法學問答  
民法總則  
契約概論  
暴力行為等處罰法

第三卷

第四卷

第五卷

判例小話  
法學問答  
債權總論  
國際公法の基本觀念  
刑事訴訟法  
工揚抵當法  
判例小話  
法學問答  
債權總論  
手形法  
小年法  
山林法  
判例小話  
手形法  
行政法總論  
電話法  
判例小話  
債權總論  
手形法  
辯護士法

野村 淳  
我妻 秀  
孫田 英  
牧野 一  
末弘 重  
穗積 遠  
上杉 慎  
野村 淳  
我妻 秀  
孫田 秀  
末弘 重  
上杉 慎  
野村 淳  
我妻 秀  
池田 信  
三浦 信  
我妻 信  
末弘 重  
穗積 重  
杉村 重  
我妻 重  
野村 重  
上杉 重  
末弘 重  
池田 信

末弘 太  
末弘 太  
立作 太  
小野 清  
栗栖 重  
穗積 重  
末弘 太  
末弘 太  
田中 太  
岩部 通  
岩部 通  
岩部 通  
田中 太  
田中 太  
藤原 重  
藤原 重  
末弘 太  
末弘 太  
田中 太  
長島 太  
長島 太

第九卷

第十卷

第十一卷

第十二卷

第十三卷

道 路 法

判例小話

債權總論

行政裁判法

地方稅法

判例小話

刑法總論

債權總論

契約各論

判例小話

債權總論

契約各論

會計法

鐵道營業法

判例小話

債權總論

裁判所構成法

非訟手續法

判例小話

會社法

丹 羽 七 郎

穂 積 重 郎

末 弘 太 郎

美 濃 部 達 吉

田 中 廣 郎

穂 積 重 郎

瀧 川 幸 辰

末 弘 太 郎

三 積 信 三 郎

穂 積 重 郎

末 弘 太 郎

三 積 信 三 郎

廣 瀬 信 三 郎

佐 竹 三 郎

穂 積 重 郎

三 積 信 三 郎

長 瀬 信 三 郎

中 島 弘 道

穂 積 重 郎

松 本 治 郎

第十四卷

第十五卷

第十六卷

第十八卷

第十九卷

契約各論

戶籍法及寄留法

判例小話

會社法

行政法總論

契約各論

電氣事業法及瓦斯事業法

判例小話

民事訴訟法

會社法

衆議院議員選舉法

行政法規

判例小話

海 法

民事訴訟法

平時國際法

銀行法

平時國際法

鑛業法

平時國際公法

三 鬼 頭 信 三 郎

穂 積 重 郎

松 本 治 郎

野 村 淳 三 郎

三 野 村 信 三 郎

遠 藤 重 郎

穂 積 重 郎

菊 井 維 大 郎

松 本 治 郎

穂 積 重 郎

正 木 俊 亮

宮 澤 義 治

松 本 治 郎

菊 井 維 大 郎

立 井 維 大 郎

入 江 太 郎

立 江 太 郎

平 田 慶 吉 郎

立 田 慶 吉 郎

第二十卷

第二十一卷

第二十二卷

第二十三卷

第二十四卷

第二十五卷

不動產登記法

銀行法

破產法

親族法

物權法

物權法

保險契約法

健康保險法

親族法

物權法

破產法

法製史

保險業法

取引所法

稅法

擔保附社債信法

信託法及信託業法

河川法

陪審法

戰時國際公法

杉之原 一

入江 正

加藤 重

我妻 榮

我妻 榮

青山 衆

清水 重

穗積 重

我妻 重

加藤 正

三浦 正

南岸 信

星野 直

栗橋 樹

三淵 忠

岡田 文

大森 洪

立作 太郎

第二十六卷

第二十七卷

第二十八卷

第二十九卷

土地收用法

衛生行政法

戰時國際法

海商法

破產法

海商法

親族法

教育行政法

都市計劃法

刑法各論

刑法各論

法律講話

行政法總論

社會行政

親族法

農業法

產業組合法

法律講話

社會行政

著作權法

武井 群

山田 準

立作 太郎

鳥賀 陽

加藤 正

鳥賀 陽

穗積 重

武部 欽

丹羽 七

瀧川 幸

瀧川 幸

牧野 英

野村 淳

藤野 惠

穂積 重

野間 海

孫野 秀

牧野 英

藤野 惠

棒野 一

第三十卷

農業法  
行政法總論  
物權法  
國際私法  
法律講話  
人事訴訟手續法  
著作權法  
漁業法  
農業法  
法學問答  
治安維持法  
物權法  
親族法  
法律講話  
法學問答  
商法總則  
人事訴訟手續法  
物權法  
農業法  
特許法

野野間 淳治  
野村 榮造  
我妻 三良  
山田 英一  
牧野 洪太  
大森 專一  
榛村 武重  
石黒 梅造  
野間 弘太  
末弘 嚴二  
風妻 八郎  
我妻 重榮  
總積 英遠  
牧野 一  
末弘 嚴  
竹田 太  
大森 洪  
我妻 梅  
野間 三  
安達 祥

第三十二卷

國際私法  
人事訴訟手續法  
著作權法  
法律學概論  
和議法  
特許法  
漁業法  
競賣法  
商法總則  
農業法  
國際私法  
相續法  
人事訴訟手續法  
著作權法  
法律學概論  
相續法  
新聞紙法  
債權法(事務管理不當利得)  
特許法  
國際私法

山田 三良  
大森 洪太  
榛村 專一  
田中 耕太郎  
積穂 重遠  
榛村 洪太  
大森 重遠  
穂積 三良  
山田 海造  
野間 省郎  
竹田 武重  
岩松 三郎  
石黒 武重  
安達 祥三  
加藤 正治  
田中 耕太郎  
大森 洪太  
榛村 專一

第三十一卷

第三十四卷

第三十三卷







經濟學史要論(第一分冊上)	堀 經 夫	弘文堂	昭和六	一、三〇	一	ほ	二	二二〇
經濟の國家統制	清水元	千倉書房	昭和六	二、〇〇	一	ほ	二	二二〇
現代の信託	鈴木宇一	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
景氣の金融利用	栗原正修	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
小口金融の動向	土屋良道	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
高國貨物移動調査	鐵道省運輸局	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
財界は何處へ行く	勝田貞次	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
財界の動き	服部文四郎	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
齋藤報恩會九事業報告(昭和五年四月至昭和六年三月)	齋藤報恩會	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
債務の引換	倉島清高	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
史的論議(一元論)	川内唯彦	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
支那封建社會史	花井卓藏	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
重農學派經濟學	山口正太郎	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
新經濟戰(英國經濟は)	清水俊夫	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
第三全國公債社債明細表	飯田豊吉	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
第七回全國無盡會社要覽	仙臺鐵道局	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
第五年度全國無盡會社要覽	仙臺鐵道局	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
仙臺鐵道局要覽	仙臺鐵道局	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇
世界經濟恐慌	世界經濟恐慌	同	昭和六	一、八〇	一	ほ	二	二二〇

世界帝國主義入門	大衆公論社	昭和五	七〇	一	ほ	二	二二〇
世界經濟年報(一九三〇)	鐵塔書院	昭和六	各七〇	一	ほ	二	二二〇
世界經濟恐慌と國際消費組合	第一出版社	昭和六	五〇	一	ほ	二	二二〇
近世界經濟早わかり	千倉書房	昭和六	一、〇〇	一	ほ	二	二二〇
世界經濟の統一	弘文堂	昭和六	三、三〇	一	ほ	二	二二〇
精神科學的經濟學の基礎問題	日本評論社	昭和六	三、八〇	一	ほ	二	二二〇
消費組合運動	同	昭和六	非賣	一	ほ	二	二二〇
ソグイェト聯邦最近經濟事情	同	昭和七	三〇	一	ほ	二	二二〇
弗賣買の解剖(外國爲替の解説)	千倉書房	昭和六	二、〇〇	一	ほ	二	二二〇
貸借導照表學講話	嚴松堂	昭和六	一、〇〇	一	ほ	二	二二〇
貸銀制度の諸問題	萬里閣	昭和六	二、〇〇	一	ほ	二	二二〇
地方税の賦課と徴收	同	昭和六	二、〇〇	一	ほ	二	二二〇
昭和四年朝鮮總督府遞信年報	同	昭和六	非賣	一	ほ	二	二二〇
昭和五年朝鮮總督府遞信統計要覽	同	昭和六	非賣	一	ほ	二	二二〇
朝鮮の遞信事業	同	昭和六	非賣	一	ほ	二	二二〇
大野武夫	同	昭和六	一、〇〇	一	ほ	二	二二〇
東北經濟論叢第三卷	同	昭和六	四、〇〇	一	ほ	二	二二〇
日本保險年鑑(昭和六年版)	同	昭和六	非賣	一	ほ	二	二二〇
日本經濟の再建設	同	昭和五	三、〇〇	一	ほ	二	二二〇

日本保險年鑑	三浦義直	日本保險年鑑發行所	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二〇六二
日本金融資本發達史	高橋龜吉	東洋經濟社	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二二六〇
日本經濟年報 第四輯	野村順之助	共生閣	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二五九
日本經濟年報 第六輯	神原周平	東洋經濟新報社	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二八三
日本文學に現れたる經濟生活	東洋經濟新報社	同	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二五七
日本勞働組合法研究	山本勝太郎	寶文館	昭和六	二、五〇	一	ほ二	二二五八
朝日政治、農家經濟の改善	山中篤太郎	森山書店	昭和六	九〇	一	ほ二	二二四四
農村經濟講話	朝日經濟部篇	朝日新聞社	昭和五	五〇	一	ほ二	二二五五
賠償及戰債支拂猶豫問題と世論	中澤辨次郎	同	昭和六	二、八〇	一	ほ二	二二七六
不動產金融と抵當證券	東京商工會議所	同	昭和六	非賣	一	り二	二二九一
ドイツ賠償、戰債問題の解剖	坂正逸	章華社	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二二五一
ヘーゲル哲學と經濟科學	山崎清純	千倉	昭和六	三〇	一	ほ二	二二三二
奉天經濟拾年誌	赤松要	同	昭和六	二、八〇	一	ほ二	二二四六
奉天省財政の研究	萩原昌彦	奉天商業會設所	大正七	一	一	ほ二	二二八九
滿洲經濟概況	岡田一龜	盛京時報社	昭和二	一	一	ほ二	二二九四
宮城縣產業組合時報 (第十二號)	奉天商業會設所	同	大正五	一	一	ほ二	二二八五
無產者としての質屋の研究	清水牧三	產額組合中央會支會	昭和六	非賣	一	ほ二	二二〇五
物富み人富まざる矛盾	東京市役所	同	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二二四三
列強經濟のデレンマ	小原喜三郎	千倉	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二四六
	伊地知軍司譯	千倉	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二二二七

四、社會

明るい里暗い村	東京朝日新聞經濟部	日本評論社	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二四
如何にして農民は生くべきか	横尾惣三郎	農村研究會	昭和五	一、〇〇	一	ほ二	二二四八
要保護者に關する調査	東京學藝部社會課	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二四七
階級闘争の研究	海野幸徳	赤爐閣	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二二五四
空より科學へ社會主義	竹沼隼人	希望閣	昭和六	二〇	一	ほ二	二二二六
管内職業紹介事業概況	青森地方職業介紹所	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二四五
現代日本と世界の動き	徳富猪一郎	民有社	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二二八四
結婚の改造	正木不如丘	東京堂	昭和六	一、三〇	一	ほ二	二二八八
黒龍會三十年事歴	黒龍會	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二八八
神戸市社會事業概況	神戸市役所社會課	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二八六
昭和五年國勢調査概報	權太應	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二四三
公民の知識	森本厚吉	四條書店	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二二三〇
五節の知話	有馬鐵四郎	芝艸堂	昭和六	一、五〇	一	ほ二	二二二七
参考館報 (参考防止)	日本赤十字社	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二九三
例註 記事 (大觀)	今井柏靖	修省堂	昭和六	三、〇〇	一	ほ二	二二八一
人口及人口問題	高田保馬	日本評論社	昭和四	一、五〇	一	ほ二	二二五五
	本庄榮次郎	日本評論社	昭和五	一、八〇	一	ほ二	二二二七

女性と公共生活	三輪田元道	萬里閣	昭和六	一、八〇	一	ほ二	二一五〇
支那労働問題	海野幸徳	赤爐閣	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二二三四
東京市職業紹介求人事情調査	宇南寧	国際文化協會	昭和六	二、三〇	一	ほ二	二二五九
東京市職業紹介求人事情調査	東京市役所	同	大正四	五、八〇	一	ほ二	二二九〇
東京市職業紹介求人事情調査	東京市役所	同	昭和六	非賣	二	ほ三	二二九〇
東京市職業紹介求人事情調査	東京市役所	同	昭和六	非賣	二	ほ二	二二七二
第十五輯	東京府學務部社會課	同	昭和五	非賣	二	ほ二	二二七三
第十六輯	求職婦人の環境調査	同	昭和五	非賣	二	ほ二	二二七三
第十六輯	失業者の實狀に關する調査	同	昭和五	非賣	二	ほ二	二二七三
生活標準調査ニ關スル資料	社會局社會部	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二八四
全國農村娛樂狀況	文部省	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二八四
昭和六禮要錄	大禮記録編纂委員會	内閣印刷局	昭和六	三、〇〇	一	ほ三	二四九
第十四回赤十字國際會議派遣委員報告	日本赤十字社	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二四〇四
一九三一年の失業問題	國際修初局東京支局	同	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇四
男女青年團ニ關スル調査	文部省	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二四〇四
文部省男女青年團名簿	文部省社會教育局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二四〇八
貨幣制度の諸問題	モリス、ドツア	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二四〇六
女學校から職業へ	正田淑子	萬里閣	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇六
次女の職業問題	新川正一	交蘭閣	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇六
昭和五年日本労働年鑑	海野幸徳	赤爐閣	昭和五	三、〇〇	一	ほ二	二四〇六
	大原社會問題研究所	同人社	昭和五	三、〇〇	一	ほ二	二四〇六

日本に於ける農業問題	農民斗争社	叢文閣	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇七
日本赤十字社各病院患者統計	日本赤十字社	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二四〇六
農村社會經濟史	木村靖二	白揚社	昭和六	二、〇〇	一	ほ二	二四〇八
農村問題と社會理想	那須皓	岩波書店	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇八
自力本願に農村の建替へ	中井賢藏	文同館	昭和六	一、〇〇	一	ほ二	二四〇七
農村問題と社會理想	橋孝三郎	建設社	昭和六	二、四〇	一	ほ二	二四〇三
農人職業戦線の展望	東京市役所	白鳳社	昭和七	一、八〇	一	ほ二	二四〇一
壬生新寫古文書(續左亟抄)	宮内省圖書寮	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二四〇三
無料宿泊所止宿者ニ關スル調査	東京府學務部社會課	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二四〇七
明治初年農民騷擾錄	土屋高雄	同	昭和六	四、八〇	一	ほ二	二四〇五
類聚符宣抄(別名左亟抄)	宮内省圖書寮	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二四〇三
獵奇の社會相	赤神良讓	新潮社	昭和六	一、六〇	一	ほ二	二四〇三

五、統計

昭和三年度 青森營林局統計書	青森營林局	同	昭和五	非賣	一	り三	二一五二
昭和四年度 青森市統計書	青森市役所編纂	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二二七二
昭和五年度 青森市統計書	青森市役所編纂	同	昭和七	非賣	一	ほ二	二二七二
昭和五年度 青森營林局統計要覽	青森營林局	同	昭和六	非賣	一	り二	二四四五
青森營林局管内要覽(昭和四年度統計)	青森營林局	同	昭和六	非賣	一	り二	二四五九

昭和四年度 青森營林局統計書	青森營林局	同	昭和六	非賣	一	り三	一五二
卸賣物價統計表	商工大臣官房	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二四
昭和四年度 簡易保險局統計年報	簡易保險局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二四三
昭和五年度 簡易保險局統計年報	簡易保險局	同	昭和七	非賣	一	ほ三	二四三
昭和四年度 樺太廳統計書	樺太廳	同	昭和五	非賣	一	ほ三	二四
昭和四年度 業務統計要覽	仙臺逓信局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二二
國勢調查速報(一)失業及人口	內閣統計局	同	昭和五	非賣	一	ほ三	一九六
昭和五年 小賣物價統計表	商工大臣官房統計課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二四六
昭和五年 國勢調查報告(第五卷)	內閣統計局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	一六四
昭和五年 蠶糸類及真綿統計表	農林大臣官房統計課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二三八
昭和四年度 司法保護事業成績表	輔成會	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二八九
昭和四年 仙臺市統計書	仙臺市役所	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二〇八
昭和五年 仙臺市統計書	仙臺市役所	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二〇六
昭和六年版 仙臺市勢要覽	仙臺市役所	同	昭和六	非賣	一	ほ一	二五二
昭和五年 統計年報	第一區府廳立 衛生局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二五二
生活標準調査ニ關スル資料	社會局	同	昭和五	非賣	二	ほ二	二七三
昭和五年版 拓務要覽	拓務省	同	昭和五	非賣	一	ほ二	二〇四
昭和五年版 拓務要覽	拓務省	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二〇四
拓務省統計概要(第二回)	拓務大臣官房文書課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二二三
拓務省統計概要(第三回)	拓務大臣官房文書課	同	昭和六	非賣	二	ほ三	二二三

臺灣現住人口統計	臺灣總督官房調査課	同	昭和五	非賣	一	ほ三	八六
臺灣現住人口統計摘要	臺灣總督官房調査課	同	昭和六	非賣	一	ほ一	一九九
臺灣總督府第三十三統計書	臺灣總督官房調査課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	八四
臺灣人口動態統計	臺灣總督官房調査課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	八四
第七回治水事業ニ關スル統計書	內務省土木局	同	昭和五	非賣	一	ほ二	一九九
昭和第一次聽取者統計要覽	日本放送協會	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二五三
第二次蓄產提要	農林省畜產局	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二七〇
貨統計表	商工大臣官房統計課	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二三二
通信統計要覽	逓信省	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二〇三
通信統計要覽	逓信省	同	昭和七	非賣	一	ほ三	二〇三
朝鮮總督府逓信統計要覽	朝鮮總督府逓信局	同	昭和七	非賣	一	ほ三	一九一
特許局第十四次統計年表	特許局	同	昭和六	非賣	一	り三	二五七
統計時報(三十四號)	內閣統計局	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二七三
昭和四年度 日本帝國人口動態統計	內閣統計局	同	昭和五	非賣	一	ほ二	一八八
昭和五年度 日本帝國人口動態統計	內閣統計局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	一八八
昭和四年度 日本帝國死因統計	內閣統計局	同	昭和五	非賣	一	ほ三	一八七
昭和四年度 日本赤十字社各病院患者統計	日本赤十字社	同	昭和五	非賣	一	ほ三	一七六
第四十九回 日本帝國統計年鑑	內閣統計局	同	昭和五	非賣	一	ほ三	二二〇
第五十回 日本帝國統計年鑑	內閣統計局	同	昭和六	非賣	一	ほ三	二二〇
昭和四年度 日本帝國人口動態統計記述編	內閣統計局	同	昭和六	非賣	一	ほ二	二四七



昭和漁船天測用簡便年表	志野德助編	同人	昭和六	非賣	一	八二	九七
漁船の實用簡便天測法	志野德助著	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
近世物理學史序説	矢島祐利著	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
科學の精神を語る	大阪毎日新聞 田制佐重編	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
科學實驗と科學玩具の作り方	工藤善助著	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
高等物理學補習	竹内潔著	同人	昭和五	二〇〇	一	八二	九八
高等物理學補習	平塚忠之助著	同人	昭和五	二〇〇	一	八二	九八
高等物理學問題解	北岡馨著	同人	昭和五	二〇〇	一	八二	九八
高等物理學問題解	井形厚臣	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
伊勢曆(折本)	神宮司應	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
明治の曆	東京領曆商社	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
大正本曆二、三、四、五、六、七	神宮神部署	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
文久の曆	神宮神部署	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
嘉永の曆	神宮神部署	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
萬延の曆	神宮神部署	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八
安政の曆	神宮神部署	同人	昭和六	二〇〇	一	八二	九八

弘化の曆三、丙四、丁五、戊	同	同	弘化三	各二	三	八三	一七
文政の曆	同	同	文政三	各五	九	八三	一七
享和の曆	同	同	享和二	各五	八	八三	一七
寛政十一己曆十二庚曆	同	同	寛政九	各二	二	八三	一七
曆	東京帝國大學	同人	昭和六	不詳	一	八二	一七
物理學新	江戶開板所	同人	昭和六	四〇〇	一	八二	一七
鹽と人生(鹽療治の方法)	三枝彦雄著	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
小學理科の兒童劇脚本	平林敏滋著	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
天文星を語る	長尾豊	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
彈性体及流体の力学	野尻拘影著	同人	昭和五	一〇〇	一	八二	一七
潮文論文集(及身邊雜集)	王城嘉十郎	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
天文論文集(及身邊雜集)	中央氣象臺	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
東洋天文學史研究	宇宙亘愛研究所	同人	昭和六	一〇〇	一	八二	一七
日本天文學及地球物理學輯報	新城新藏著	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七
日本天文學及地球物理學輯報	同	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七
日常生活と氣象の應用 第一編	同	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七
物理學演習(上卷)	石卷測候所	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七
物理學演習(上卷)	若桑光雄著	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七
物理學一般上、下	一瀬正巳	同人	昭和三	一〇〇	一	八二	一七

物理化學ハンドブック	太陽堂編輯部	昭和六	三、五〇	一	八二	九三
物理學演習 下卷	若桑光雄著	昭和六	四、〇〇	一	八二	九六
曲柄最適腕長及び最適軸高に就いて	田中作治郎	昭和六	非賣	一	八二	九五
應用氣象の宮城縣下七大河川出水豫報の研究(第一報)	石卷測候所	昭和六	非賣	一	八二	九六
昭和六年チオ年鑑	小森七郎編	昭和六	一、三〇	一	八二	九六一
ラヂオ素人天氣豫報術	中村左衛太郎著	昭和六	一、八〇	一	八二	九三六
理化學史物語 附世界理科年表	宮道馨	昭和六	二、五〇	二	八二	九〇八
理科年表(昭和六年)	東京天文臺	昭和六	一、五〇	一	八一	七五
理科年表(昭和七年)	東京帝國大學	昭和六	一、五〇	一	八一	七五

三、博物

原貝類圖	山川默	昭和五	一、七〇	一	八二	九三
金石一覽圖解上下	大坪源造抄譯	明治六	不詳	二	八二	九九五
仙臺山監督局内鑛區一覽(昭和六年七月一日現在)	同局編	昭和六	非賣	一	八三	四六
趣味の魚學	佐々木喜一郎著	昭和六	各三、三〇	二	八二	九五〇
小學理科を兒童劇脚本	長尾豊	昭和六	二、五〇	一	八二	九〇七
戯曲化する兒童劇脚本	末松直次著	昭和六	一、八〇	一	八二	九三
三省堂	梶田勘助	昭和五	一、七〇	一	八二	九三
同	杉山書店	昭和六	各三、三〇	二	八二	九五〇
同	厚生閣書店	昭和六	二、五〇	一	八二	九〇七
同	成美堂書店	昭和六	一、八〇	一	八二	九三

性別の化學的考察 前篇	田所哲太郎著	昭和六	三、三〇	一	八二	九三
理科前世界の生物	堀尾實善著	昭和六	一、五〇	一	八二	九四〇
原貝類	山川默	昭和五	一、五〇	一	八二	八一
鳥類生態寫真集第二輯	富士山麓地方の鳥類	昭和六	四、〇〇	一	八二	五五
天然紀念物調査報告	文部省	昭和七	非賣	一	八二	四五
みみ	畑井新喜司著	昭和六	二、〇〇	一	八二	九四
自然科學(四) 農業地質學	岩崎重三著	昭和六	四、〇〇	一	八二	三九
丸善株式會社	文化書房	昭和六	三、三〇	一	八二	九三
同	三省堂	昭和五	一、五〇	一	八二	九四〇
同	三省堂	昭和六	四、〇〇	一	八二	五五
同	改造社	昭和六	二、〇〇	一	八二	九四
同	日本評論社	昭和六	四、〇〇	一	八二	三九

第七門 醫學、工學、軍事

一、醫學

榮養と食品の化學	藤卷良知	昭和六	三、〇〇	一	八二	九〇一
癌は治る手後れするな	市川厚一	昭和五	一、〇〇	一	八二	八五六
木村應無痛分娩法講座	實驗心理學研究會	昭和五	二、〇〇	三	八二	九一八
健康増進施後の實績 第一輯	帝國生命保險會社	昭和五	非賣	一	八二	八六九
健康増進マツナージ法	野地繁久	昭和六	一、〇〇	一	八二	九〇三
健康増進マツナージ法	野地繁久	昭和六	非賣	一	八二	九一
被保險者結核療養所設計の根本原則及具体案	産兒制限評論社	昭和六	不詳	一	八二	九三六
産兒調節 第四卷 五月號	平野馨	昭和六	一、三〇	一	八二	八六四
鹽と人生(鹽療養の方法)	平林敏滋	昭和六	一、三〇	一	八二	八六四





日本神社建築史	佐藤勝	文	昭和六	四三	一	三	八三
小發電機製作設計及取扱法	入船勝治	誠電氣局	昭和四	四三	一	二	八〇五
復興局道路工事材料購買仕様書集	復興事務局	同電氣局	昭和五	非賣	一	三	七五
東京復興建築圖集	建築學會	九	昭和六	非賣	一	三	八七
明治治科學史	明治史講庫刊行會	日本文學社	昭和六	三、五〇	一	三	八二
和洋住宅設備設計の知識	山本拙郎	實業之日本	昭和六	一、五〇	一	二	八六
陸地測量部沿革誌終篇	陸地測量部	同	昭和六	一、五〇	一	二	八六
昭和四、陸地測量部年報	陸地測量部	同	昭和五	非賣	一	二	八七〇
昭和四、陸地測量部年報	陸地測量部	同	昭和六	非賣	二	三	八三

三、軍事

歐洲に使用して	實業の日本社	同	昭和六	二〇	一	二	八七三
極東軍縮を回顧して次の軍縮會議に及ぶ	三枝茂智	有	昭和六	非賣	一	二	九二
戰記懷舊錄自第一、二、四輯	藤田定一	愛國青年會	昭和三	三、五〇	二	二	九三
軍縮の脅威	大島高精	同	昭和五	四〇	一	二	九三
元寇の研究	竹内榮喜	同	昭和六	三、五〇	一	二	九七
研究會雜誌 第三卷第三號	仙臺陸軍教導學校	同	昭和六	三、五〇	一	二	九五
研究會雜誌 第四卷第一號	後藤兼文	同	昭和七	一、二〇	一	二	九六
戰	三友堂	同	昭和六	一、二〇	一	二	九六

誰が世界大戰を製造したか	早坂二郎譯	先進社	昭和六	一、七〇	一	二	八七三
次の極東戦争	西野雄治	朝風社	昭和五	一、〇〇	一	二	八九九
最帝國及列國の陸軍	陸軍省	同	昭和六	非賣	一	二	八六八
近帝國及列國の陸軍	陸軍省	同	昭和七	非賣	一	二	九一〇
希臘國の防	和田龜治	同人會社	昭和六	三〇	一	二	九二
希臘國の見たる	廣瀬彦太	同人會社	昭和五	一、二〇	一	二	九四
日米未和戰	水田稻葉	有終會	昭和四	一、五〇	一	二	一九五九
於ける我海軍と和蘭	内外産業資料調査會	有終會	昭和六	五〇	一	二	二八二
滿洲事變と世界の聲	平田晋策	日本評論社	昭和七	一、〇〇	一	二	九〇三

第八門 美術、音樂、諸藝

一、美術

遠藤速雄松島鹽釜版書集	仙臺市 櫻田周	同人	明治廿	五、〇三	一枚	三	九三
翰墨行脚	後藤朝太郎	春陽堂	昭和六	三、五〇	一	二	四九
薩哈嘰洲寫真帖	石川智	仙臺石川寫真館	大正三	非賣	一	三	九三
書道沿革一覽乾、坤	比田井天來	書學院	昭和二	一、〇〇	一帖	三	九二
書道全集 第一卷三、四、六、十一、十四	下中彌三郎編	平凡社	昭和六	各一、五〇	十二	三	九二
書道講座 第十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三卷	長坂金雄	雄山閣	昭和六	各一、〇〇	六	三	九二





商工業原理解講話	臺灣總督府殖產局	同	昭和五	非賣	一	り	二	二二三
實利養雞法	大泉行雄	同	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二二四
製造、販賣より見たる新肥料	服部銳太郎	服部養鶏園	昭和六	二、〇〇	一	り	二	二二五
主要食糧農産物改良増殖獎勵事業	増澤俊介	明文堂	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二二六
實際廣告の拵へ方と仕方	農林省農務局	同	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二二七
縞三綾及綿縮統制の話	片岡重夫	春陽堂	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二二七
水産増殖調査書 第五冊	臨時産業合理局	商工省内同局	昭和六	非賣	一	り	二	二二六
水田ノ災害危険性段別調	農林省水産局	聯合出版社	昭和六	非賣	一	り	三	二二五
昭和三、四兩年ニ於ケル社債界	農林省農務局	同	昭和六	非賣	一	り	三	二二六
昭和四年度臺灣貿易概覽	日本興業銀行調査課	同	昭和五	非賣	一	り	二	二二八
昭和五年度事業報告	臺灣總督府稅關	同	昭和五	非賣	一	り	二	二二八
仙臺商工業案内	宮城縣商物検査所	同	昭和六	非賣	一	り	二	二二五
一九三〇年生絲恐慌	宮城縣商物陳列所	同	昭和五	非賣	一	り	一	二二五
第七回全國菓子餡菓子大品評會	仙臺商工會議所	同	昭和六	非賣	一	り	二	二二三
第八回全國菓子餡菓子大會菓子報告書	井上鑑三	同	昭和六	二、〇〇	一	り	二	二二九
昭和五年臺灣貿易概覽	同品評會事務所	同	昭和五	非賣	一	り	二	二二五
地方産米に關する調査	臺灣總督府稅關	同	昭和六	非賣	一	り	三	二二五
地方林務一斑(第十五回)	農林省農務局	同	昭和五	一、〇〇	一	り	二	二二六
地方産業座談會	農林省山林局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二二五
	東京朝日新聞社	日本評論社				り	二	二二五

中華民國輸入稅率新舊追補	商工省貿易局通譯課	同	昭和六	非賣	一	り	二	二八二
店舖設計と店頭裝飾	商工省貿易局通譯課	同	昭和六	非賣	一	り	三	二八一
店員讀本	室田久良三	誠文堂	昭和五	二、〇〇	一	り	二	二二〇
調査員讀本	村上計二郎	第一出版社	昭和五	一、〇〇	一	り	二	二二五
	日本商工會議所	同	昭和六	非賣	二	り	二	二〇四
	(一五) 最近に於ける世界各國の關稅改正(一九三一年前中期)							
	(一六) 一九三〇年に於ける世界各國の經濟狀態							
電氣化學の理論及應用(上下)	龜山直人	丸善株式會社	昭和六	四、七〇	二	り	二	二五五
東北及東北人	淺野源吾	東北社	大正四	七	一	り	二	二四五
東京石川島造船所五十年史	新井源水	同人	昭和五	非賣	一	り	二	二七五
東洋貿易研究	大阪市役所	同人	昭和六	非賣	一	り	二	二七五
東京工業試驗所報告 自二五回至二六回	東京工業試驗所	同人	昭和六	非賣	八	り	二	二〇〇
東京工業試驗所年報	東京工業試驗所	同人	昭和六	非賣	一	り	二	二〇八
土地改良事業基本調査地區一覽	朝鮮總督府	同人	昭和六	非賣	二	り	三	二七五
土耳其關稅定率表	大坂市役所	同人	昭和六	八	一	り	二	二三五
陶磁器試驗所報告 第九號	産業部調査課	同人	昭和六	非賣	一	り	三	二四七
第九回名古屋市貨物集散概況	工政會出版部	同人	昭和六	非賣	一	り	二	二四七
國産内外品對照展覽會誌	名古屋市産業部勸業課	同人	昭和六	非賣	一	り	二	二二七
昭和補日本工業政策	愛知國産振興會	同人	昭和六	非賣	二	り	二	二二七
昭和補日本農業年鑑	田中貢	富田書店	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二四三
	西村健吉	富民協會	昭和六	一、〇〇	一	り	二	二四八

日本毛織三十年史	日本毛織株式會社	同	昭和六	非賣	一	り	三	一七九
燃焼指導	大阪府立農業能率研究會	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六〇
農産物改良増殖獎勵事業調	農林省農務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
農産主任技術官會議要録	農林省農務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
農林統計時報	農林大臣官房統計課	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
農家副業	佐久間哲三郎	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
合農產製造學	高橋偵造	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
巴爾幹諸國經濟事情	外務省通商局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
舶來品より優良なる國產品	倉橋藤治郎	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
發明の意義	高島宗之	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
販路調査の要諦	大阪市役所産案調査部	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
馬匹血統録	三宅隆人	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
肥料問題研究	佐藤寛次	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
緬甸對外貿易事情	外務省通商局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
百貨店新經營法	栗屋義純	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
佛獨白諸國農村の瞥見	齊藤慶朗	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
米價調節調査ノ經過及成績	農務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
各種調査會米穀ニ關スル調査ノ經過概要	農務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二七〇
米穀生產費及家計費調査に關する協議會記錄	農務局	同	昭和四	非賣	一	り	三	一七三

米穀の害蟲と驅除豫防	農務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
貿易獎勵資料	貿易獎勵會	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
内外市場本邦輸出絹織物ノ取引狀況	商工省商務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
内外市場本邦輸出陶磁器取引狀況	商工省商務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
内外市場本邦輸出器具取引狀況	商工省商務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
貿易經濟叢書	大阪市役所産案調査課	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
三十七號	英領印度關稅定率表	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
三十八號	東洋諸國現行商標條例集(上)	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
復借簿	下野直太郎	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
漫畫廣告創作集	本松吳浪	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
滿蒙の産業要覽	南滿洲鐵道株式會社	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
滿蒙の産業要覽(合冊)	宮城水産會	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
綿羊の生産(創刊號)	日本放牧協會	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
メートル法普及の狀勢	大阪府權度課	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
綿織物市場トシテノ阿弗利加州	商工省商務局	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
簡木工器具の作り方	鎌田賢吉	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
モリス式勤勞銀行	ヘルツォツグ	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
稻田及び池田利用	宮城縣水産試驗場	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八
輸出特種製茶法	農林省茶業試驗場	同	昭和六	非賣	一	り	二	二六八



化學 (三)	化學三D……金相學……近重眞澄	久保田 勉之助
化學九B……醇素……高橋偵造	化學一B……化學量論……千谷 利三	
化學七A……岩水化物……左右田徳郎	化學七A……岩水化物……左右田徳郎	
化學 (四) 一、光 化學	塚本 義之	
二、寫真 化學	有 賀 輝	
二、有機化學概論	小 松 茂	
三、別 項		
物理學 (一) 一、物理學概論	石 原 純	三、熱力學 坂井 卓三
二、質點及剛体の力學	田 丸 卓郎	四、科外特別題目
物理學 (四) 一、物理學に應用する數學	寺 寛 澤 一	
二、別 項		
英米近代文學叢書	和田 利彦	春 陽 堂 昭和六 非賣 十 ぬ二 三四五
第一卷 現代一幕物傑作集	宮森麻太郎譯	第九卷 カロメウインダミヤ婦人の扇其他 葉河 憲吉
第三卷 近代英米短篇集	富 田 彬譯	第十一卷 密告者黒髮運轉士其他 須藤 兼吉
第四卷 この最後の者にも其他	川津 孝四譯	第二十卷 アカシヤの路其他 花園 兼定
第七卷 夜の宿り其他	酒井 朝彦譯	第廿一卷 虹、盲目の人 松本 秀
第九卷 牡丹燈籠、夏、日、夢其他	山本 供平譯	第廿四卷 厚化粧の女其他 舟橋 雄
音樂 叢書	乙骨三郎外	
第七篇	ピアノ奏法の研究	第十一編 日本音樂の研究

第八編	改訂バイオリン奏法の研究	第十三篇	近世ウイオリン演奏史
第九篇	歌劇の研究		
近代日本文學大系	上海商務印書館		
第十一卷	酒落本代表作集	第二十一卷	人情本代表作集
第十七卷	式亭三馬集	第二十二卷	落語滑稽本集
第十八卷	十返舎一九集	第二十四卷	川柳狂歌集
現代史學大系	歴史と社會組織	共立社書店	昭和六 一、五 ぬ二 三四四
四 歴史と經濟組織	龍川 政治 知 行 會	同 會	昭和五 非賣 五 ぬ三 四七
古典保存會編書	同	同	唐大和上東征傳
古 事 記 (上卷)		連 詞 新 式	
伊勢物語			
世俗諺文(上)			
最新科學圖鑑	北原鐵雄編	ア ル ス	昭和六 各一、八 ぬ三 六〇
第一 科學文明史		第八	電氣時代(上)
第二 天空の科學		第十一	製造工業の世界(上)
第三 地球の科學		第十四	動物圖譜
第六 機械時代			
自然科學叢書		日本評論社	昭和五 ぬ二 三九
第一編	森林の生理	鈴木 徳二	
第二編	飲酒と犯罪及禁酒	小南 又 吉郎	



第三編 近代化學概観  
 第四編 農業地質學  
 昭和 漢文叢書 續成一  
 日本外史新譯 中山久四郎  
 十八史略新釋(下卷) 鹽野新次郎  
 莊子新譯 下卷 坂井 喚三  
 世界 現狀大觀 佐藤義亮編 新潮社 昭和六各二、八〇三 頁二 三六  
 英吉利篇 新 潮 社 昭和六各二、八〇三 頁二 三六  
 印度、濠州、加奈陀篇  
 ソグエトロシア篇  
 東洋 史精粹 松井 等 共立社 昭和六一、五〇一 頁二 三四  
 函館圖書叢書 齋藤與一郎 同 昭和六一、五〇一 頁二 三四  
 第十編 獨逸學生氣質 齋藤與一郎

三、全集

石川啄木全集 石川啄木 改造社 昭和六一、五〇一 頁三 六  
 荷田全集 荷田神社編 弘文館 昭和六一、五〇〇 頁二 二九  
 第六卷 神代卷劄記 古事記劄記

第七卷

日本書紀神代卷抄  
 大嘗會儀式具釋  
 大嘗會圖式  
 大嘗會便蒙  
 大嘗會便蒙御咎顛未  
 田令俗解(四種)  
 貞視儀式鼓吹司誠生等儀解  
 令義解記  
 羽倉考拾遺  
 令三辨  
 本朝度制略考  
 家記所繫考  
 裝束色葉  
 國歌八論  
 國歌八論再論  
 古今集左注論  
 百人一首抄(下卷欠)

衛府雜錄  
 各目抄袖釋  
 羽倉考  
 大江朝臣考  
 菊着綿考  
 狹布考  
 百首部詠  
 白猿物語  
 落合物語  
 替星私辨  
 在滿歌文集  
 杉野しづ枝

現代小説  
 一、芥川龍之介集 新潮社編 同 大正四 非賣 十五 頁二 三二  
 二、泉鏡花集  
 三、菊池寬集  
 四、久保田萬太郎集  
 五、久米正雄集  
 六、佐藤春雄集



五、書目

官廳刊行圖書目錄 <small>自十一號至十三號</small>	內閣印刷局	同	昭和二	各一〇	三	六二
神戸海港博覽會紀念館出品目錄	神戸博覽會協會	同	昭和六	非賣	一	三〇
朝鮮總督府	同	同	昭和五	非賣	一	二八
宮内省圖書寮	大久保秀次郎	府	昭和五	非賣	四	六
荒木伊兵衛	創元社	校	昭和六	七、五	一	三七
慶應義塾圖書館	同	同	不詳	非賣	一	三五
龍谷大學編	同	同	昭和六	三、〇〇	一	三八〇
坪井徳充	同	同	昭和六	三、五〇	一	二六三
太陽堂編	同	同	昭和六	五、〇〇	一	二六三

六、雜書

アメリカから来たレボ	紀俊夫	人格社	昭和六	八〇	一	二六二
安達さんの心境を語る	伊豆富人	倉	昭和六	三〇	一	三三
馬問の戸籍調べ	石本久萬男	明三會	昭和五	非賣	一	三六
學問の戸籍調べ	村上計二郎	日本書院	昭和四	一、五〇	一	三七九
幸運の戸籍調べ	大木篤夫	アールス	昭和六	一、五〇	一	三八
廓堂の戸籍調べ	西田幾多郎	教育研究所	昭和六	非賣	一	三三

金陵雜誌	江密徐壽鄉	南京共和書局	中華民國十一年	不詳	一	三八
木村三郎君追憶集	關根嘉弘	同人	昭和六	非賣	一	二九
郷土に語り	相馬御風	春秋社	昭和六	一、三〇	一	二八
子は寶なり	北村兼子	萬里閣	昭和六	一、五〇	一	二五七
産兒調 <small>雑誌第四卷五月號</small>	平野馨	産兒制限評論社	昭和六	二、五〇	一	九六
裁判異譚	大森洪太	日本評論社	昭和六	一、五〇	一	四〇
最近學生左翼運動秘録	能勢岩吉	萬里閣	昭和六	一、五〇	一	四三
支那は起ちあがる	支那同文書院	同	昭和六	一、五〇	一	三五〇
支那文化を中心	室伏高信	新潮社	昭和六	一、八〇	一	三七
日本の支那及支那國民に與ふる書	中里介山	大阪屋	昭和六	三〇	一	三七
支那社會の表裏	一色忠慈郎	大阪屋	昭和六	一、九〇	一	三五
新聞人の打明け話	佐藤巖	松山房	昭和六	八〇	一	三五
新聞の出来る迄	大坂毎日新聞	一元社	昭和六	一、三〇	一	三六
新聞物の出来迄	姫野徳一	扶桑閣新聞學會	昭和六	一、〇〇	一	三四
通書物の出来迄	庄司淺水	ブックドム社	昭和五	一、五〇	一	三四
七、十、二十年話	外崎覺	ブックドム社	昭和六	一、八〇	一	三五
時事有年鑑	時事新報社	外崎浩	昭和六	三、五〇	一	三六
凡てのものを愛する者に死は唯一の道です	木村二郎	同	昭和五	非賣	一	三四〇



昭和五年史(三版)	結城長治	巖松堂	昭和六	二、八〇	一	二	二五
世間の非世間	大谷光瑞	讀賣新聞社	昭和六	一、三〇	一	二	三四
大學の運命と使命	野澤隆一	千倉	和五六	一、五〇	一	二	三三
千葉縣圖書館叢書第一輯	千葉縣圖書館	同	昭和六	非賣	一	二	三三
海女の生活の研究	橋	同	昭和六	非賣	一	二	三三
東京文理大學文科紀要	東京文理大學	京津日日新聞社	大正三	非賣	一	二	三六
日本は衰へる?	北村佳逸	同	昭和六	三、六〇	一	二	二八
人間句佛	佐山榮太郎	瀧本恭次郎	昭和六	一、八〇	一	二	二九
被服(被服資源誌)	被服協會	大阪屋	昭和六	一、五〇	一	二	二七〇
百年後の科學文明	佐藤一郎	同	昭和六	一、八〇	一	二	三〇
文書整理法の理論と實際	淵時智	同	昭和七	二、三〇	一	二	三六
民會二十年誌	奉天居留民會編	同	大正二	不詳	一	二	三六
明日はどうかなる	竹越與三郎	同	昭和六	五	一	二	三六
明治百話	篠田造	同	昭和六	二、〇〇	一	二	三五
明治暗色(ペンオブペン)	野澤廣	同	昭和六	一、四〇	一	二	三五
文字は踊る	平野岑一	同	昭和六	七〇	一	二	三五
桃介の夜話	福澤桃介	東京日日新聞社	昭和六	一、五〇	一	二	三五
雪國の悲惨を語る	黒川久隆	先進社	昭和六	一、五〇	一	二	三五
横眼で睨んだ人生	高島米峰	雪の日本社	昭和六	一、八〇	一	二	三五
横眼で見えた日本	露スバルウチン	丙午出版社	大正三	一、八〇	一	二	三五
わが母	徳富猪一郎	新潮社	昭和六	一、八〇	一	二	三五

◆閱覽事務開閉時限

自九月 午前八時開館……………午後九時閉館  
 自三月 午前九時開館……………午後九時閉館

◆定期休館日

歳首 一月一日ヨリ五日マデ 曝書期 十、十一月中凡十日間  
 紀元節 二月十一日 明治節 十一月三日  
 天長節 四月二十九日 歳末 十二月廿九日ヨリ三十一日マデ  
 創立記念日 七月二十五日 館内掃除日 毎週月曜日

317  
66

學は多きに在らず、要は之を精しうするに在り。

孔

叢

子

學んで思はざれば即ち罔く、思ふて學ばざれば即ち殆し。

論

語

終

